

令和5年4月27日

総合支援課

令和4年度（2022年度）心のアンケートの結果について

1 目 的

「熊本市いじめ防止基本方針」に基づく「いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のために本市が実施する施策」として、熊本市立小中高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象にして、無記名のアンケート調査を実施することにより、各学校が児童生徒の思いに寄り添い、いじめの実態を把握するとともに、迅速・適切な対応を行い、いじめのない、すべての児童生徒が安心して、楽しく学校生活を過ごせる学校づくりに取り組むための資料とする。

また、認知された事例をもとに各学校、教育委員会におけるいじめの防止等のための具体的な対応策を検討・実施する資料とする。

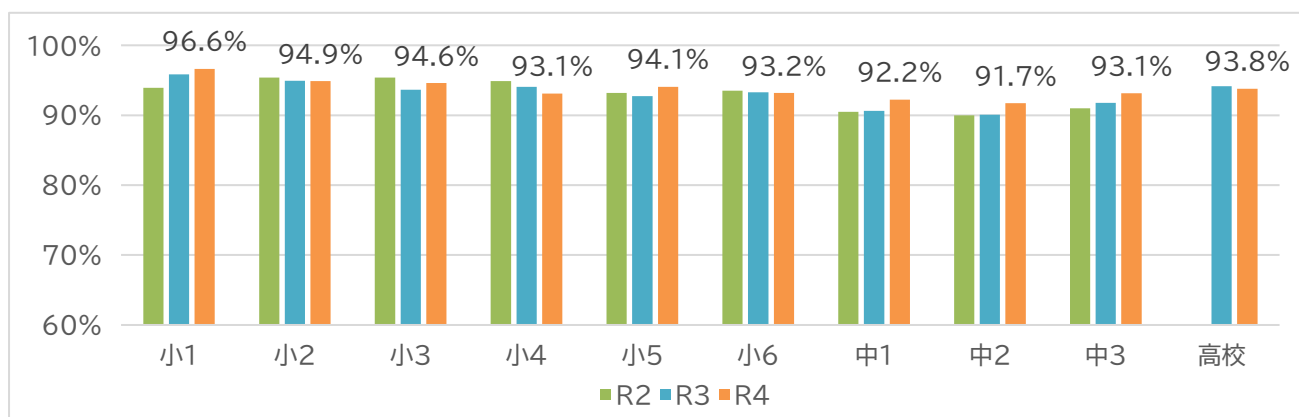
2 調査期間 令和4年11月28日～12月末日

3 調査対象 熊本市立小中高等学校・特別支援学校のすべての児童生徒
（小学生：40,222人、中学生：19,374人、高校生：1,685人）
※高校生は昨年度から調査対象に含んでいる。

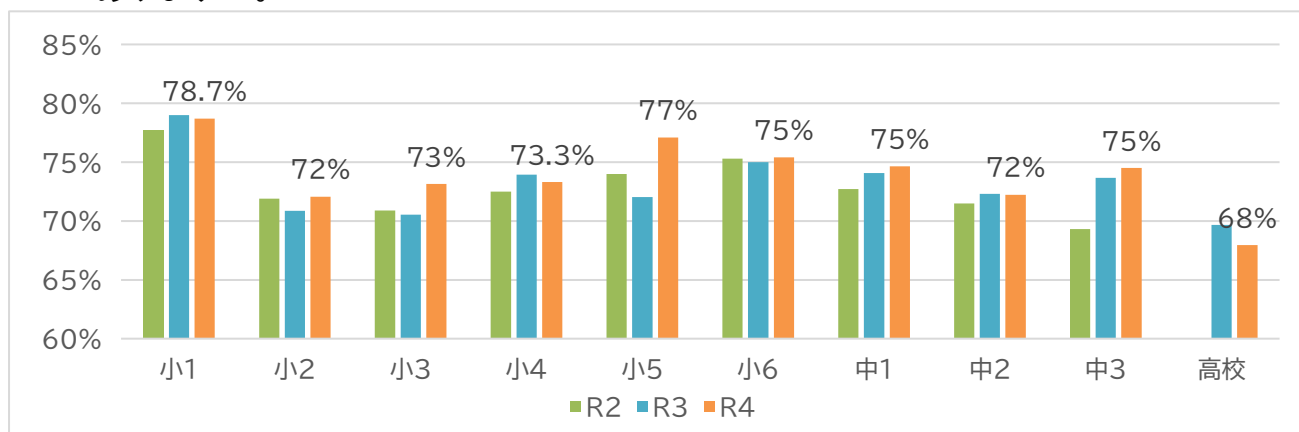
4 調査結果

【問1】 今の気持ちについての質問

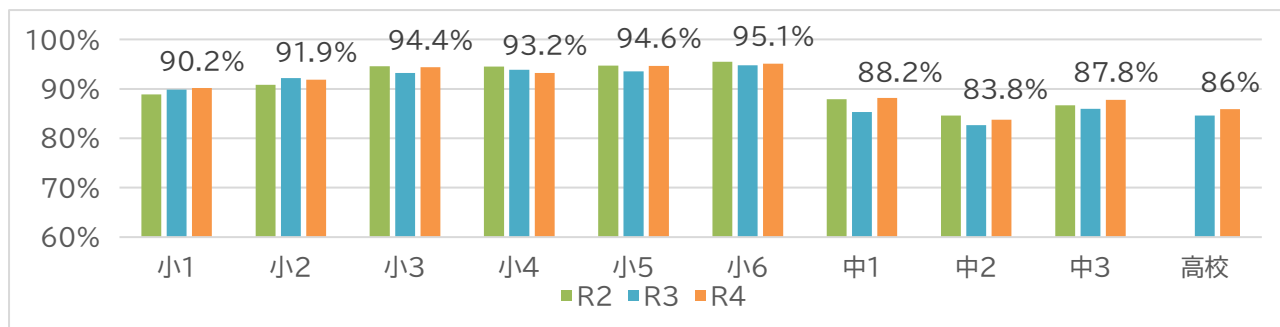
（1）学校は楽しいですか。



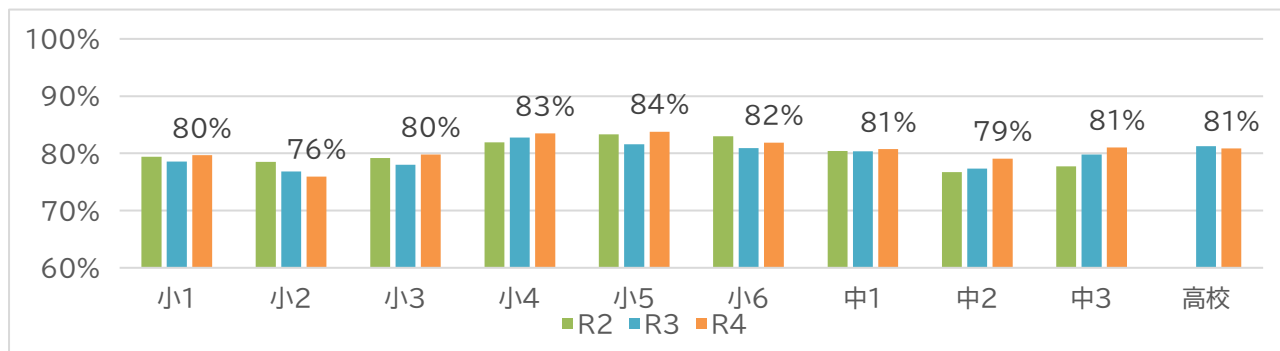
（2）授業や学級の役割など、学校生活の中で誰かの役に立っていると感じることはありますか。



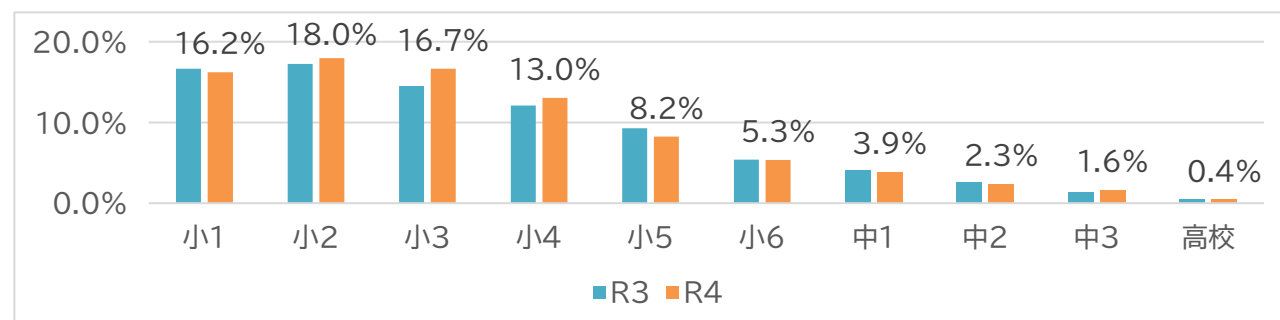
(3) 授業がよくわかりますか。



(4) スポーツや音楽、趣味など、自信のあることや自慢できるものがありますか。

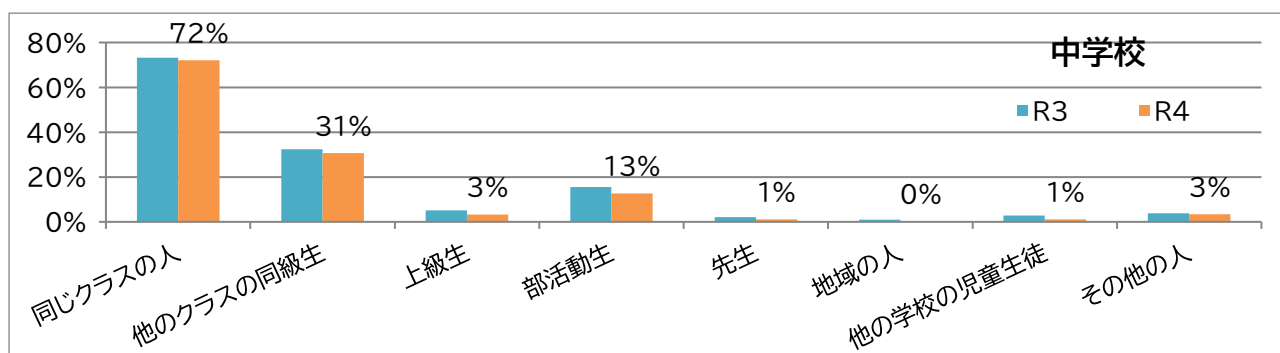
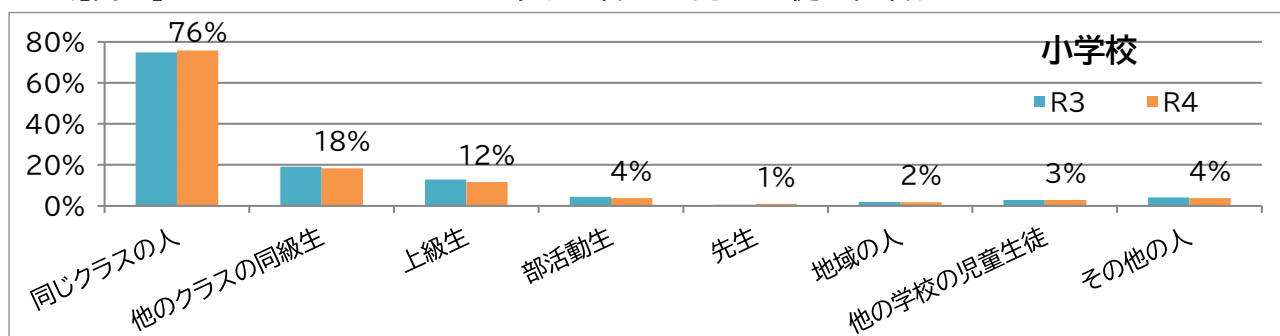


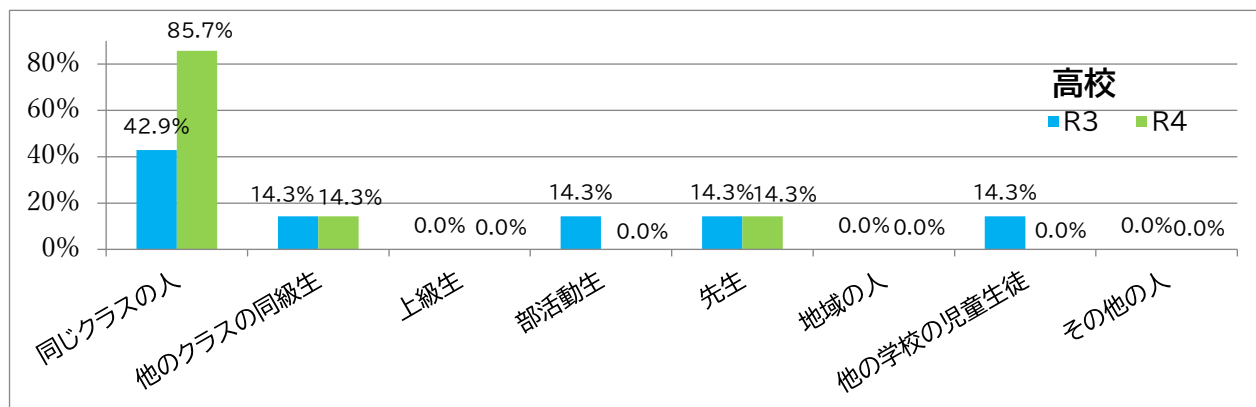
【問2】 今の学年でいじめられたことがありますか。



【問3】 誰からいじめられましたか。※複数回答

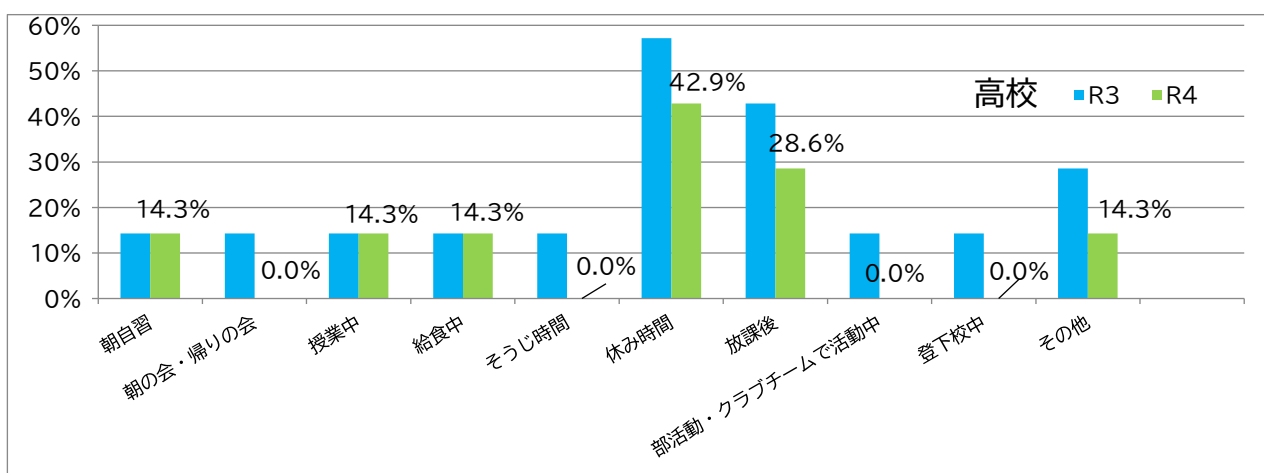
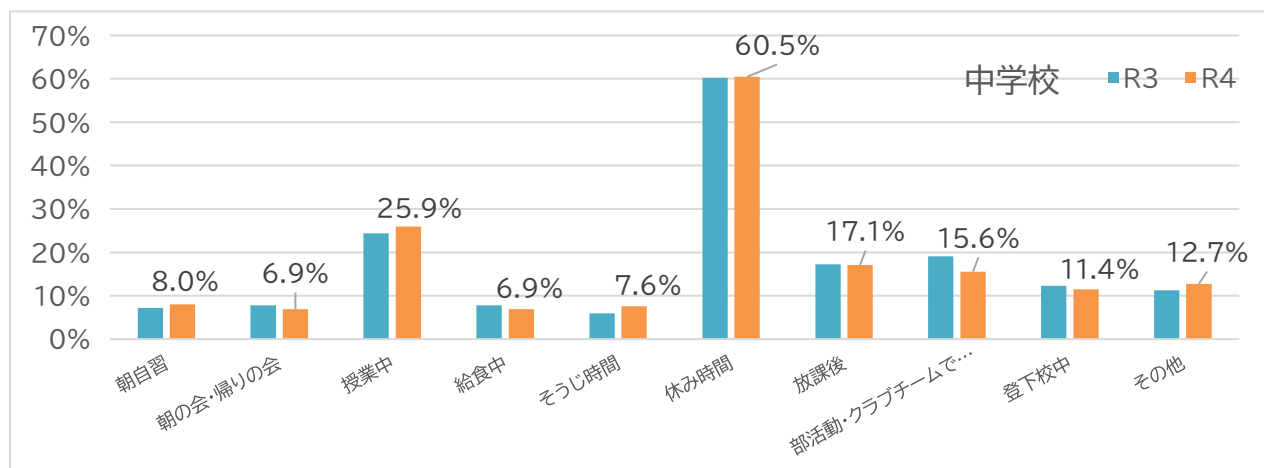
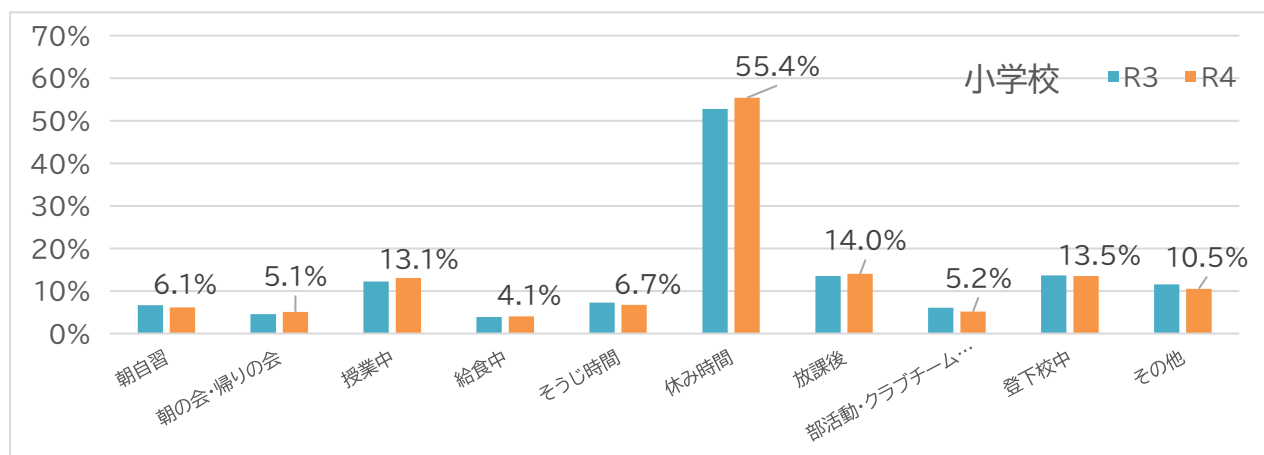
(【問2】でいじめられたことがあると答えた児童生徒が回答)



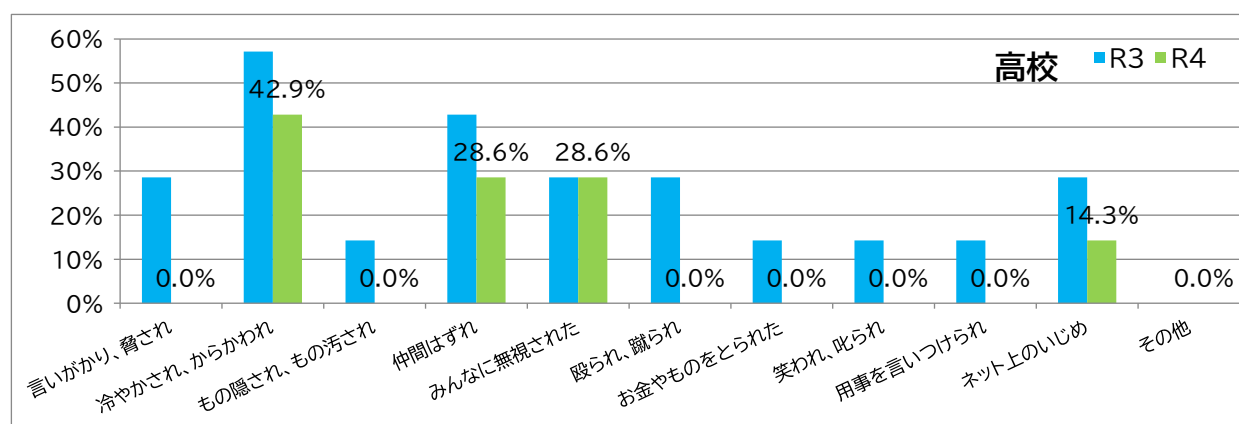
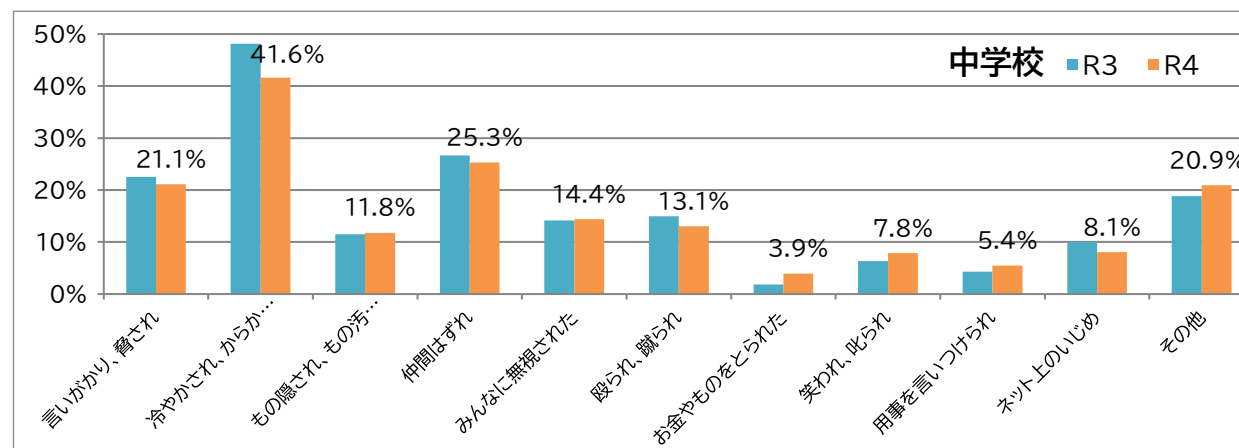
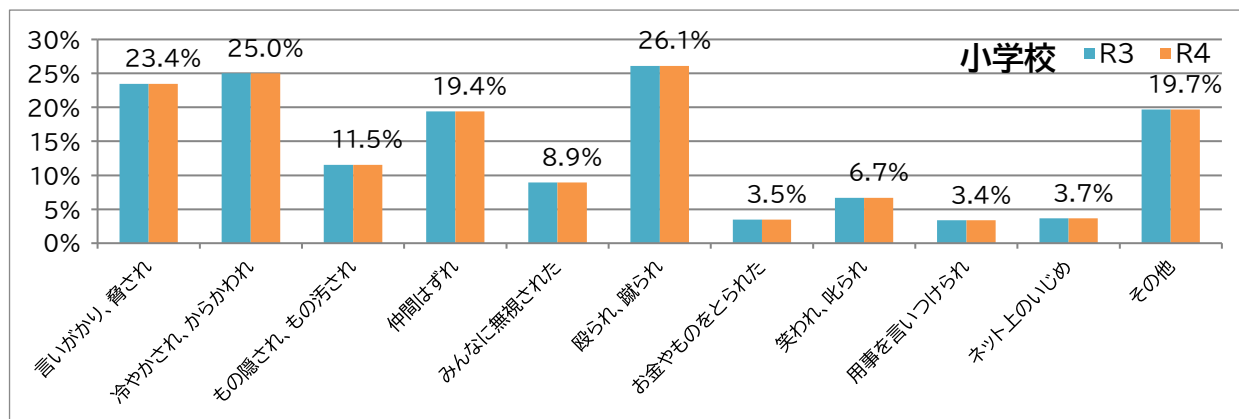


【問4】 いじめがどのような場面で起こりましたか。※複数回答

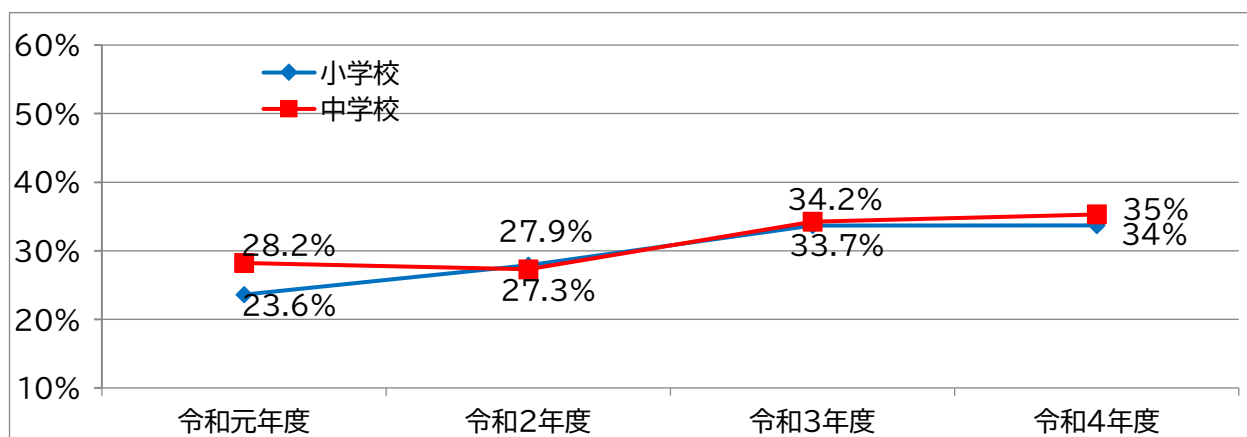
(【問2】でいじめられたことがあると答えた児童生徒が回答)



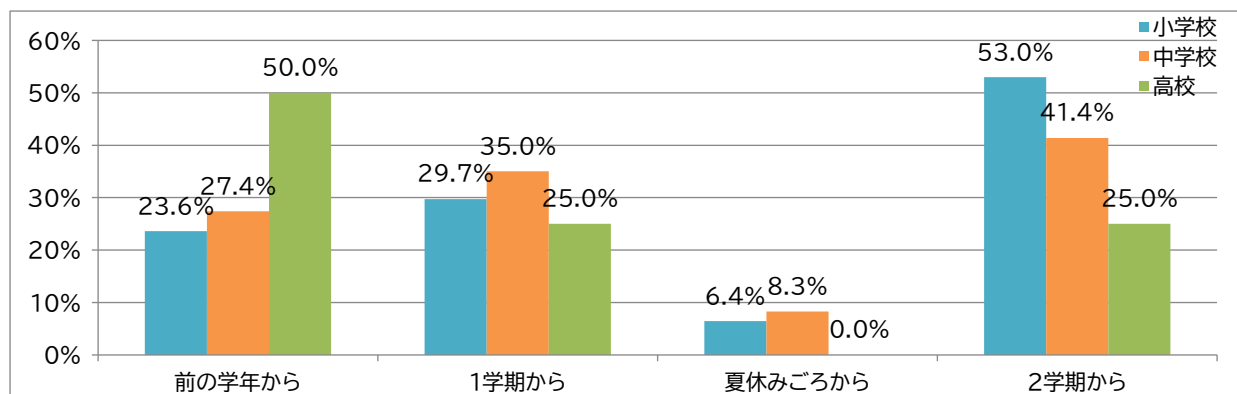
【問5】 どんないじめを受けましたか。※複数回答
 (【問2】でいじめられたことがあると答えた児童生徒が回答)



【問7】 今もいじめは続いていますか。
 (【問2】でいじめられたことがあると答えた児童生徒が回答)
 <今もいじめが続いていると答えた児童生徒の割合>



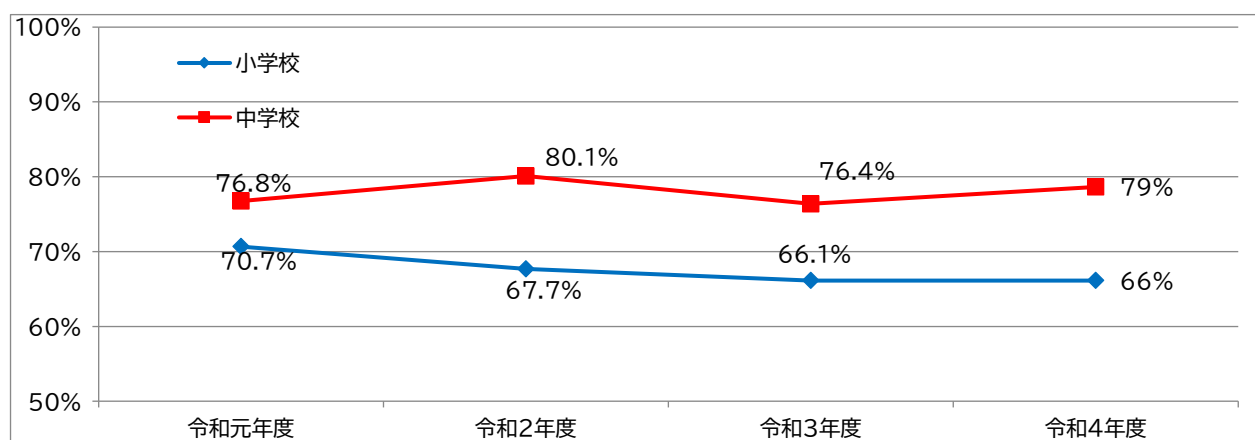
いつから続いていますか。（【問7】でいじめが続いていると答えた児童生徒が回答）



【問8】 いじめられたことを誰かに話をしましたか。

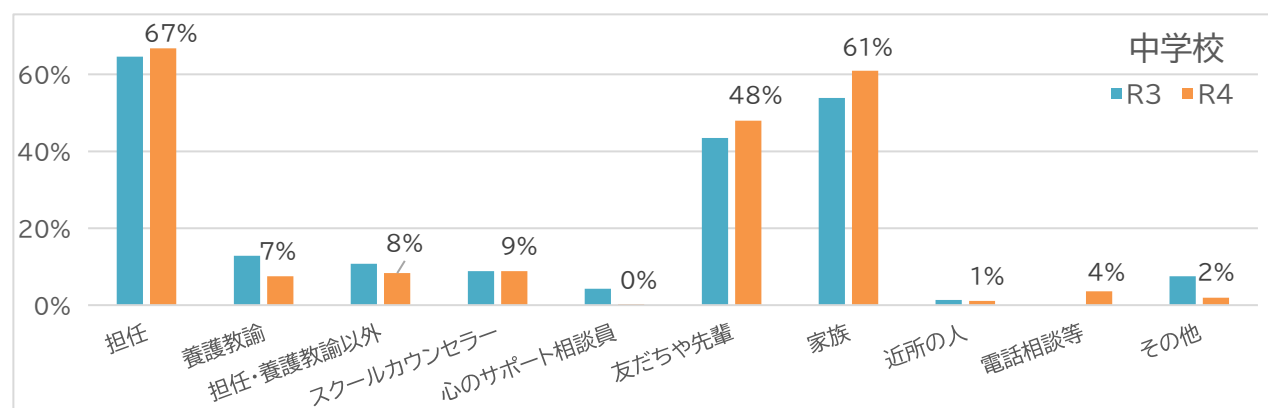
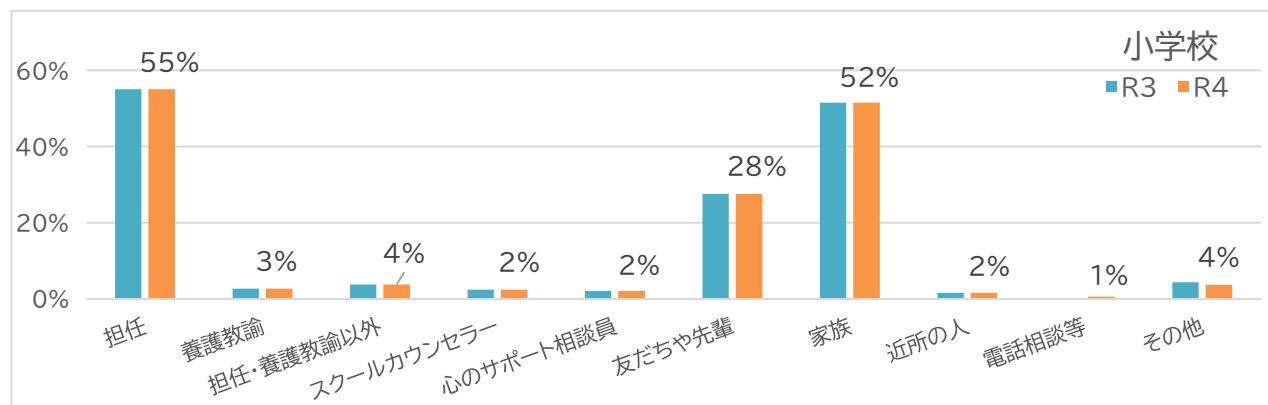
（【問2】でいじめられたことがあると答えた児童生徒が回答）

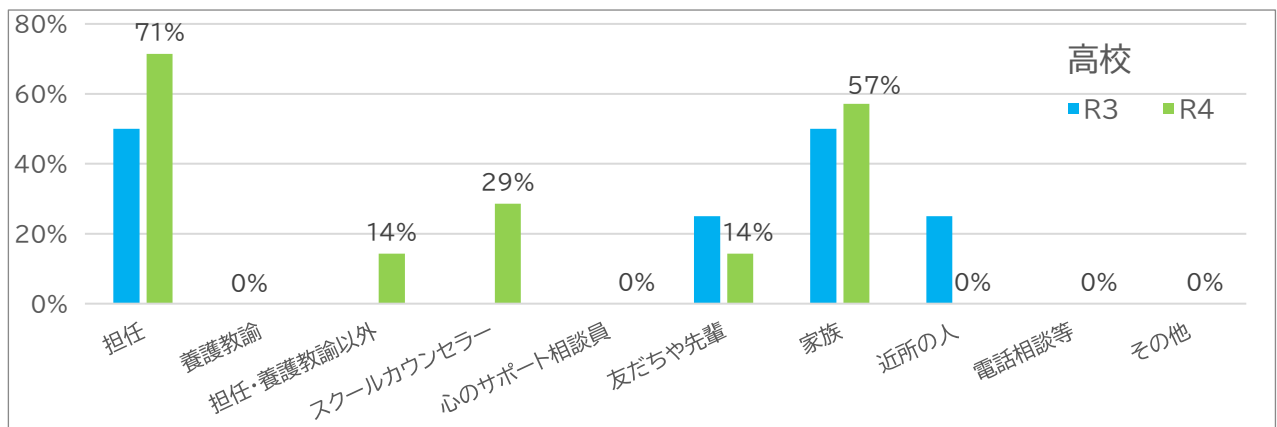
<いじめられたことを誰かに話したと答えた生徒の割合>



【問9】 誰に話をしましたか。※複数回答

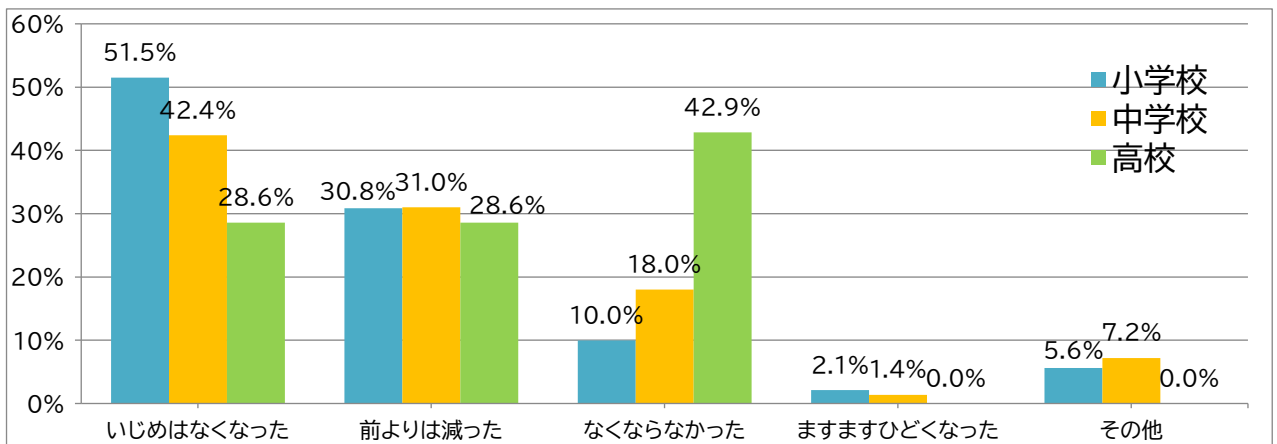
（【問8】でいじめられたことを誰かに話したと答えた児童生徒が回答）





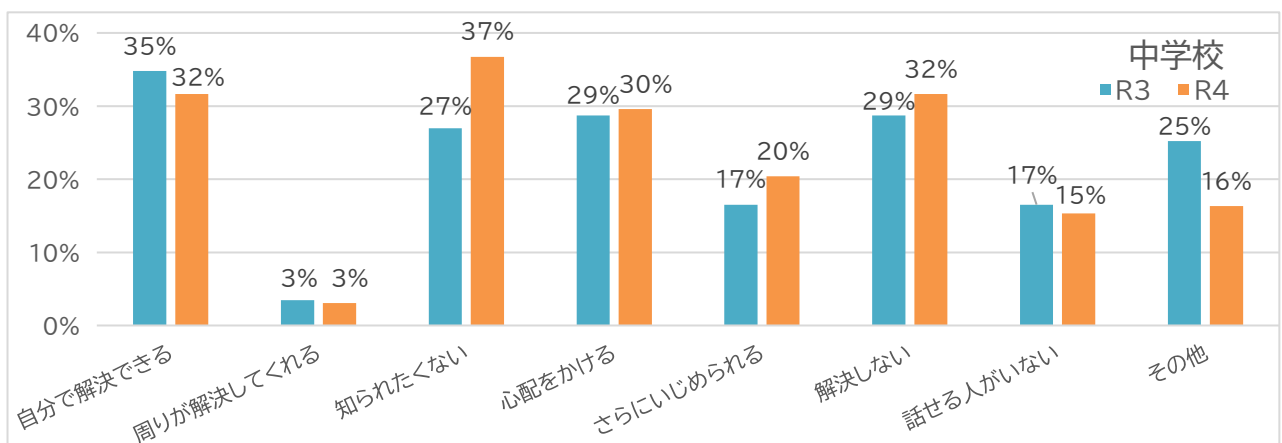
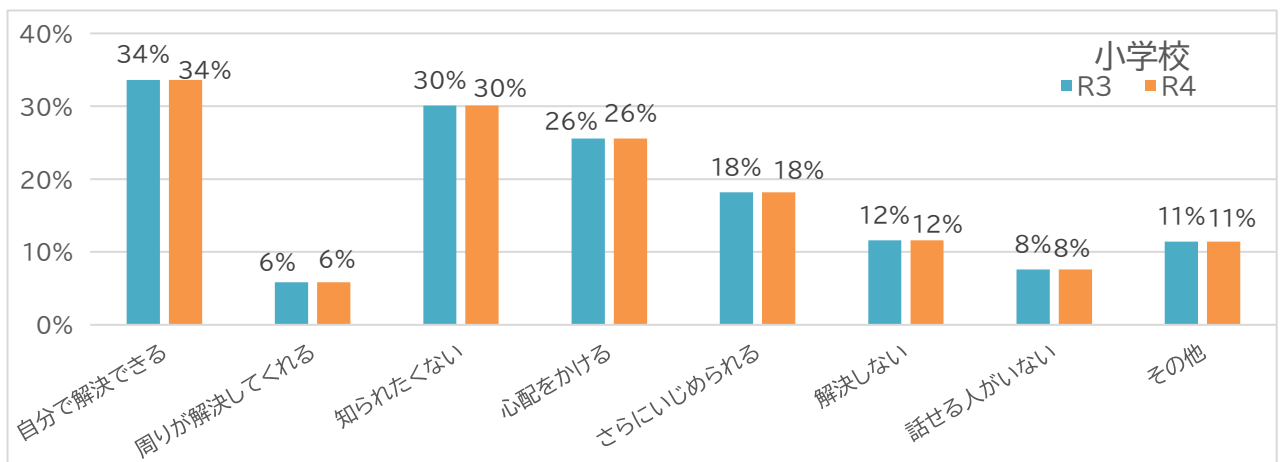
【問１０】 話した結果どうになりましたか。

（【問８】でいじめられたことを誰かに話したと答えた児童生徒が回答）

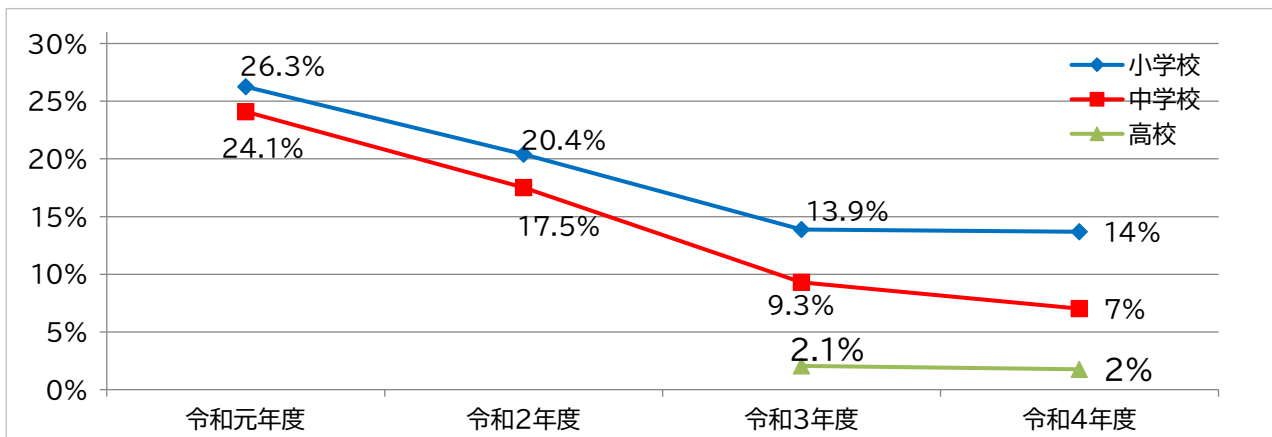


【問１１】 なぜ話をしなかったのですか。※複数回答

（【問８】でいじめられたことを誰にも話していないと答えた児童生徒が回答）

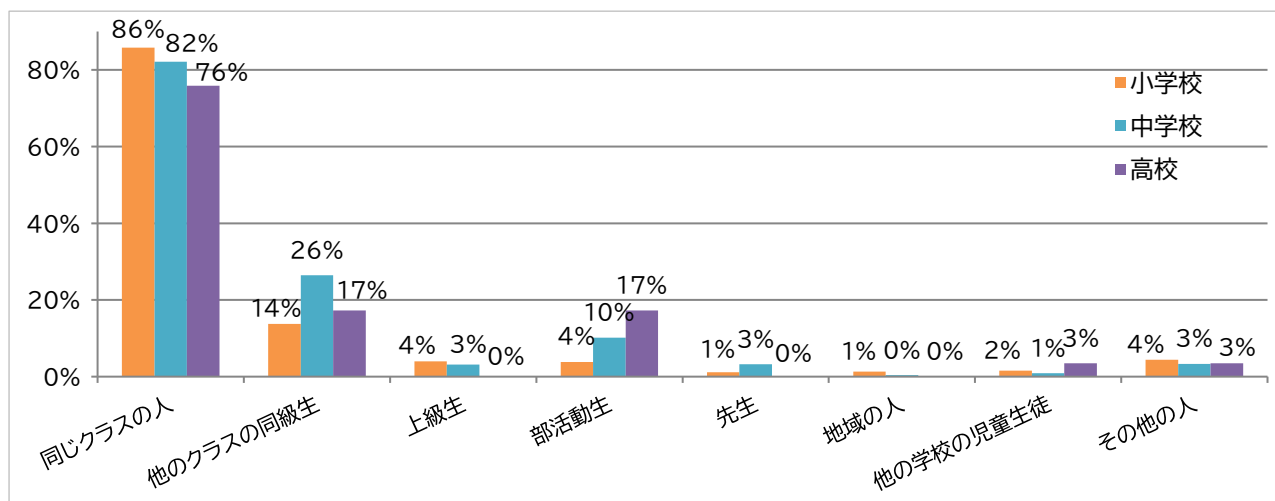


【問１２】 今の学年になって誰かに嫌なことを言ったり、したりしたことがありますか。
 <嫌なことを言ったり、したりしたことがあると答えた児童生徒の割合>



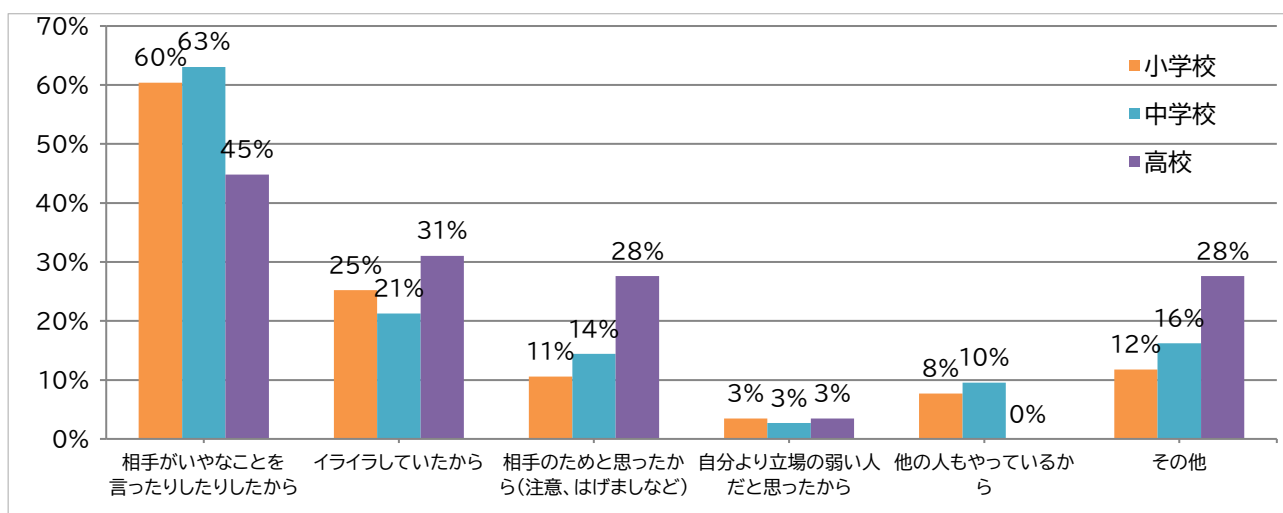
【問１３】 誰にいやなことを言ったりしたりしたか。※複数回答

（【問１２】で誰かに嫌なことを言ったり、したりしたことがあると答えた児童生徒が回答）



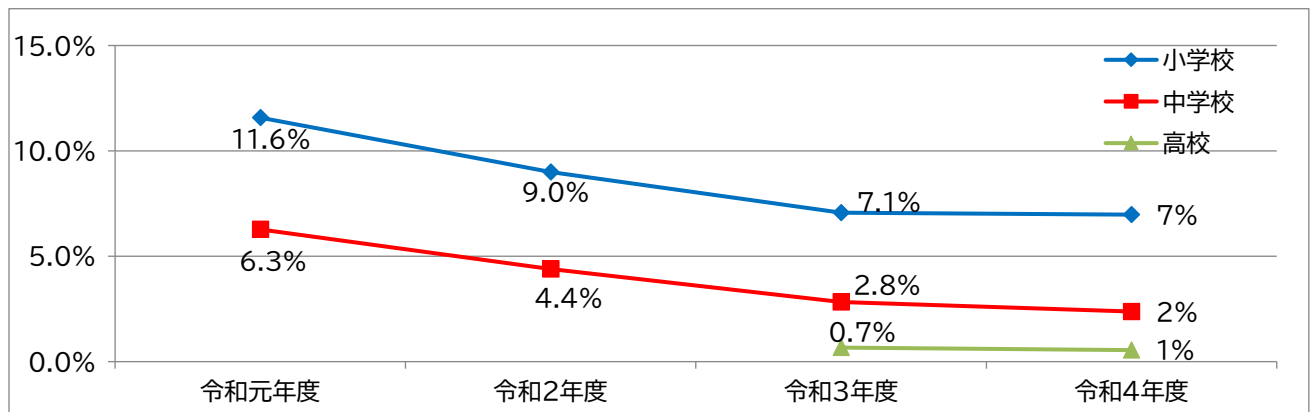
【問１４】 なぜ相手がいやと思うようなことを言ったりしたのか。

（【問１２】で誰かに嫌なことを言ったり、したりしたことがあると答えた児童生徒が回答）



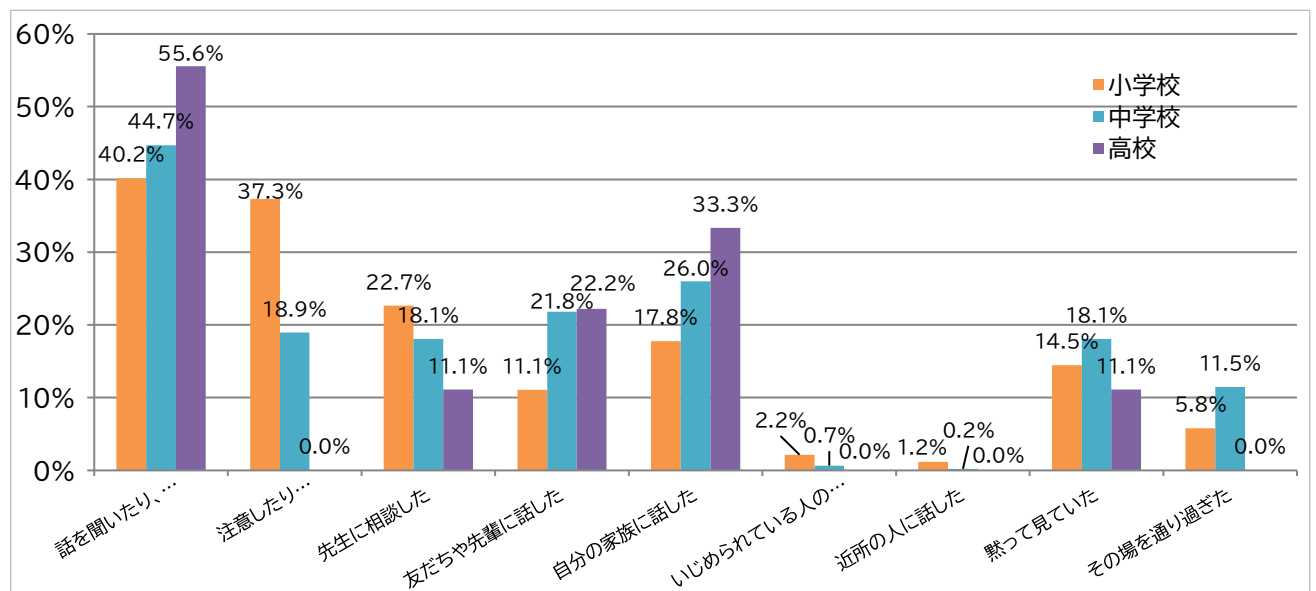
【問１５】 今の学年になって誰かがいじめられているのを見たり聞いたりしたことがありますか。

＜見たり聞いたりしたことがあると答えた児童生徒の割合＞

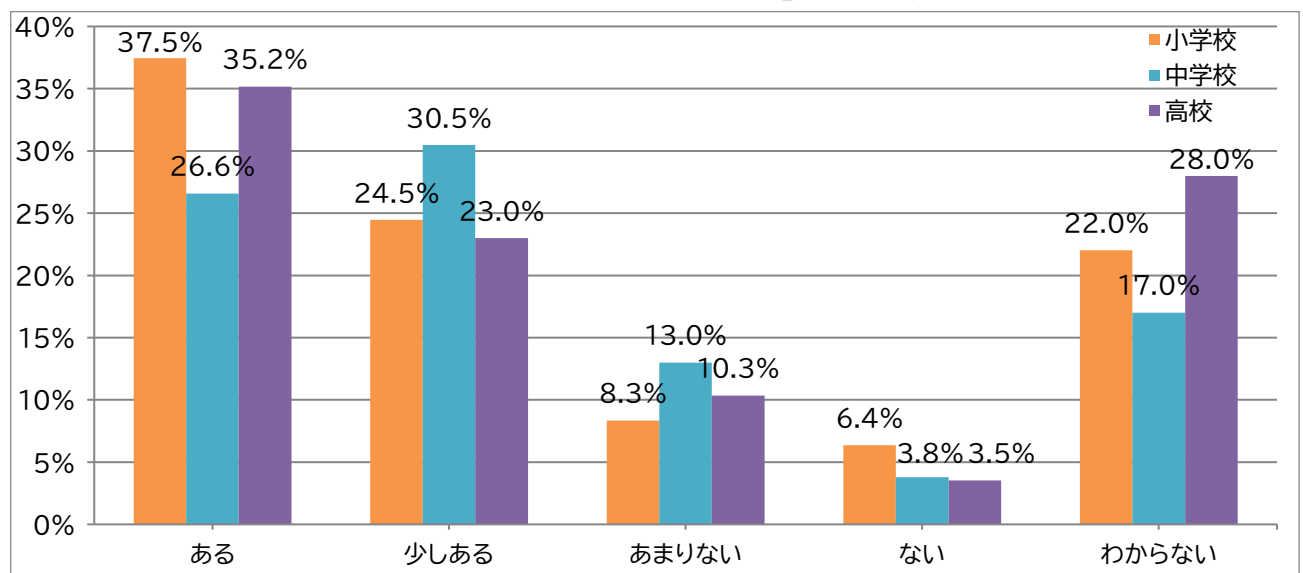


【問１６】 いじめを見たり聞いたりしたとき、どうしましたか。※複数回答

（【問１５】でいじめられているのを見たり聞いたりしたことがあると答えた児童生徒が回答）



【問１７】 あなたのクラスに「いじめをゆるさない」という雰囲気はありますか。



5 アンケート結果からみえた課題

- 【問2】「今の学年になっていじめられたことがある。」という質問では、小学校2年生をピークに徐々に減少し、高校・支援学校ではわずか0.4%となっている。
- 【問2】「今の学年になっていじめられたことがある。」と答えた児童生徒のうち、【問8】「いじめられたことを誰かに話をしましたか。」で「話した。」と答えた児童生徒は、今年度は小学校でほぼ同じ、中学校では2.6%上昇した。誰にも相談していない児童生徒数はまだ一定数いる。
- 【問9】「誰に話をしましたか。」では、「担任」と答えた割合がどの校種も一番高い。その次が「家族」と答えた割合だが、その中では小学校が一番低い。また、小学生は「担任」や「家族」以外の相談できる人が少ない。
- 【問10】「話した結果どうになりましたか。」では、【問8】で高校は全員が相談していたが、その中の42%は「なくならなかった」と回答している。
- 【問11】いじめられたことを「なぜ話をしなかったのですか。」では、「知られたくない」「心配をかける」と答えた児童生徒の合計が小学校で約5割、中学校では約7割となっている。「話せる人がいない」は、中学校では小学校の約2倍の15%となっている。
- 【問12】「今の学年になって誰かに嫌なことを言ったり、したりしたことがありますか。」【問15】「今の学年になって誰かがいじめられているのを見たり聞いたりしたことがありますか。」では、令和元年から年々減少している。しかし、【問2】「今の学年でいじめられたことがある。」の減少は見られずほぼ同数で推移している。
- 【問15】「今の学年になって誰かがいじめられているのを見たり聞いたりしたことがありますか。」では、【問2】「いじめられたことがある」と誤差がある。特に小学校の誤差が大きい。見えないところでいじめが起きている、又は、周囲はいじめと感じていない等の原因が考えられる。
- 【問17】『あなたのクラスに「いじめを許さない」という雰囲気はありますか。』では、「ある」「少しある」の合計はどの校種も約5割～6割。「わからない」の数が高校では約3割いる。

6 課題解決に向けた取組

- 自己有用感を高めるために

生徒指導の3機能（「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」）を活かした学級づくり・授業づくり等を日常的、継続的に実践していく。また児童生徒一人一人の活躍できる場を与えることで自己有用感を高めていく。

- 不安を感じたり、悩んだりしたとき、対処できるようにするために

昨年度の研究員による研究を生かし、不安や悩みを抱えたときの対処方法を知るための「SOSの出し方に関する教育」を今後、発達段階に応じて系統的に行っていく。

※研究員の研究成果物等が、ロイロノートの資料箱に保存されていることの周知を行い、積極的な活用を進めていく。

○いじめを許さないという雰囲気高めるために

「いじめは絶対に許さない」という指導を行うだけでなく、6月のいじめ根絶強化月間等を使って、児童生徒のいじめの正しい認知を進める必要がある。「いじめとはどのようなものなのか」、「なぜいじめをしてはいけないのか」を学級の実態に応じて、児童生徒自身で話し合い、学ぶ機会を設定する。

○相談窓口の周知と充実

現在、たくさんの相談機関や相談窓口が設置されているが、児童生徒のみだけでなく、保護者も含めた効果的な利用へと結びつく周知と、関係機関と更なる連携を図る。また、一人一台端末を活用した相談体制を整備していく。

○重大事態について

各学校では、いじめの未然防止や初期対応に力を入れて、組織的な指導体制で対応している。本市におけるいじめ重大事態については、令和3年度より欠席の要因にいじめが入っていないか本人及び保護者に確認することでいじめの重大事態を見逃すことなく早期発見・早期対応に努めている。